

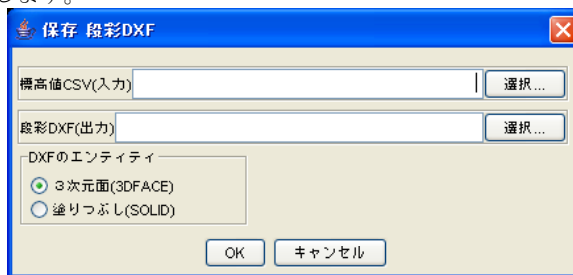
1. 段彩 DXF

TIN ファイルの保存に、標高値別に三角ポリゴンを分割して DXF ファイルに保存する機能を追加しました。

以下、操作説明書からの抜粋です。

【段彩 DXF】

段彩 DXF では、TIN の三角ポリゴンを指定された標高値で分割し、それぞれの標高値の範囲でレイヤに分けた DXF ファイルを保存します。



【標高値 CSV(入力)】 TIN を分割する標高値と DXF の色番号を指定します。1 行目はヘッダで、2 行目からがデータです。

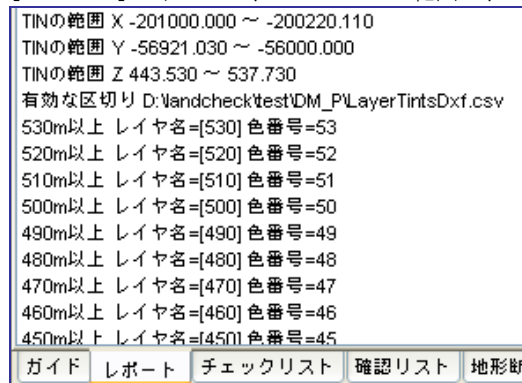
列	型	内容
1	実数	TIN を分割する標高値。負値および小数が可能。 DXF でのレイヤ名になります。小数点'.' は、アンダーバー'_' に変更します。
2	整数	DXF の色番号。1 から 255 までの整数。一列目の標高値以上のポリゴン

GeoCoach3D のインストールフォルダにサンプルとして「LayerTintsDxf.csv」を作成します。ここでは、2550.0 m 以上のポリゴンはレイヤ「2550」に属し、色番号は 255 となります。2540.0m 以上、2550.0m 未満はレイヤ「2040」に属し、色番号は 254 となります。標高値 CSV で最も低い標高値より低いポリゴンは DXF に保存しません。サンプルでは、標高値 0.0m 未満のポリゴンは保存されないことになります。

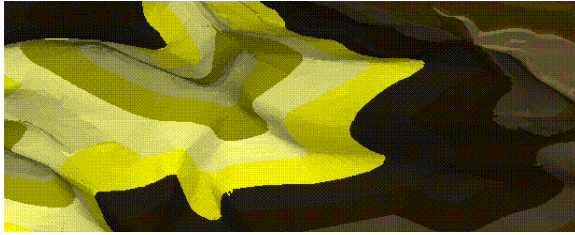
	A	B	C
1	標高値(以上)	色番号	GeoCoach3D 段彩DXF
2	2550	255	
3	2540	254	
4	2530	253	
5	2520	252	
6	2510	251	
7	2500	250	

	A	B	C
252	50	5	
253	40	4	
254	30	3	
255	20	2	
256	10	1	
257	0	7	

[レポート]パネルには、TIN の XYZ の範囲と、TIN を分割した標高値をレポートします。



【断彩 DXF(出力)】 保存する DXF ファイルを指定します。DXF ファイルでの XYZ 座標の小数点以下の桁数は 3 です。DXF ファイルのエンティティは「3次元面(3DFACE)」か「塗りつぶし(SOLID)」が指定できます。



AutoCAD での表示